

1日（平日）のスケジュール

6:30	起床、朝食、子供達の着替え
8:00	保育園への送り（夫）、私は家の片づけ・整理整頓
8:30	筑波宇宙センターに出社、午前の業務開始
12:15	チームのメンバーと昼食
13:00	午後の業務開始
16:45	残業
17:30	退社、子供達を保育園にお迎え（外勤・出張の際は夫や母にお願いする場合がある） 日によっては習い事の送迎
19:00	夕食（調理：20分、食事45分）・片付け、洗濯物の取り込み・たたみ、お風呂、明日の 保育園の準備、洗濯物干し
21:30	（目標）子供達と一緒に就寝（子どもが小さいのでまだ添い寝が必要） 実際は22時から22時半になってしまうこともある。

週末の過ごし方

平日は（急病を除く）病院に行く時間が取れないため、土曜日の午前中は通院（耳鼻科、皮膚科等）や予防接種等を行うことが多く、日曜日は保育園の持ち物や食品・生活用品等の買い物をすることが多いです。

このように現在は週末もゆっくりと家族と過ごす時間を作ることは難しいのですが、合間の時間で子供達・家族との時間を楽しむことにしています。子どもが大きくなればもう少し余裕がでると考えています。

第一子～第三子の出産から現在まで

■ 第一子（男の子 現在 5歳 5ヶ月）1月に出産後、産後休暇&育休1ヶ月取得後、5月に復帰

5月に職場復帰したものの第一希望の認可保育所は既に定員がいっぱいで入れず、第二希望の認可保育所に入所し、車で保育所の送迎を実施しました。朝は夫が子どもを保育所に連れて行き、お迎えは夕方に育児時間1回（30分）を利用して私が行いました。まだ授乳中だったため、育児時間をお昼頃に1回（30分）を利用して搾乳をしていました。第一子はあまり体が強い方ではなくよく体調を崩したので、看護休暇を利用して対応しました。翌年度の9月から第一希望であった近所の認可保育所に通えることになりました。

■ 第二子（女の子 現在 3歳 1ヶ月）5月に出産後、産後休暇&20日の年休取得（育休なし）後、9月に復帰

第一子誕生から2年半後に、第二子が産まれました。9月の復帰の時点で近所の認可保育所は全て定員がいっぱいだったので、近所の無認可保育所に預けました。第一子と第二子が別々の保育所になったので、朝は夫が第一子を連れて行き、私は第二子を保育所に連れて行きました。この朝の送りのために、私は育児時間を1回（30分）利用しました。まだ授乳も続けていたので、お昼頃に1回（30分）を利用して搾乳しました。翌年度から第一子と第二子は同じ近所の認可保育所になり、朝の送りは夫が担当してくれました。

■ 第三子（男の子 現在 0歳 11ヶ月）7月に出産後、産後休暇&年休20日取得後10月に復帰（育休なし）

第二子から2年後に第三子を出産しました。復帰時にJAXAほしのこ保育園が開設されていたので入園を希望しましたが、既に定員がいっぱいだったため第二子を預けた時と同じ近所の無認可保育所に預けました。子ども達の保育所が別々になったので夫が第一子と第二子を近所の認可保育所へ連れて行き、私は第三子を近所の無認可保育所に連れて行きました。この朝の送りのために私は育児時間を1回（30分）利用しました。今回は復帰と同時に授乳はやめました。翌年度から第一子と第二子、第三子全員が同じ近所の認可保育所になり、朝の送りは夫が担当してくれています。

悩んでいること

子どもへの気持ちと仕事への責任

■ 子どもが病気の時の対応：病児病後児サービスの充実を！

子どもが病気になった際は、私、実母、夫で手分けして看病をしています。実母はパートをしており、夫も仕事をしているので、誰も休めない場合が発生し困っています。第一子の時にはファミリーサポートの方にお世話になりましたが、ファミリーサポートは前日までの申し込みが必要なため突発的な病気への対応はできません。子ども達が病気ですら状況では保護者のうち誰かが仕事を休まざるを得ないのですが、仕事を進める責任もあり、子どもを看なければならない気持ちと仕事も進めなければならないという気持ちの両方で葛藤しています。安心して預けられる病児病後児サービスがもっと充実してほしいと感じています。

■ 出張：子育てを優先して控えるべきか、仕事を全うするべきなのか・・・

仕事でかかわるユーザは関東圏のみならず、地方や海外にいます。しかし、子どもが小さい時は宿泊を伴う出張や長期間の出張に行きづらく感じています。それでもこれまでに数回は海外出張に行き、そのうち1回は10日間程行きましたが、その間は夫・実母のみならず地方に住んでいる夫の母にも来てもらい、家族・親族総出で育児・家事の対応をしてもらいました。子どもが小さい時は出張を控えるべきなのか、それとも自分の担当する仕事を全うすべきなのか毎日葛藤が続いています。

心がけていること

子どもへの配慮と周囲の人々への感謝！

平日の朝は1時間程度、夜は2～3時間程度しか接することができないので、家事をしつつも可能な限り子どもたちの話を聞くようにしています。また、時短勤務や急な看護休暇等を取らせざるを得ない状況を理解してくださる職場の方々や、出張等の際に子どもたちの世話をしてくれる家族（夫、実母）、そして小さい体で毎日頑張っている三人の保育園児に毎日感謝しています。